

科目名	Course Title		
地球環境化学 (Environmental Earth Sciences)			
学科・専攻	Department/Program	受講年次	Grade
地球惑星科学科		3年	
授業形態	Class style	必修・選択の別	Compulsory or Elective
講義		選択	
時間割コード	Registration code	開講期・曜日・時限	Semester, Day & Period
0669720		春学期 金曜：1時限	
単位数	Credit	科目区分	Course type
2		専門科目	
担当教員	Instructor	南 雅代	
所属研究室	Laboratory	宇宙地球環境研究所	
連絡先	Contact	052-789-3091 minami@isee.nagoya-u.ac.jp	
居室	Room	環境共同館II 2階	

講義の目的とねらい	Course purpose
地球環境の悪化が進む中で、地球の姿を化学的にとらえ、それをベースに環境の諸問題を考えることは重要である。本講義では、地球化学の基礎事項を確認後、地球環境を探るための化学的手法について学びながら、地球化学の視点から、人間活動と自然環境の関わりを総合的に理解することを目指す。	
履修要件	Prerequisite
化学の基礎知識を有していること。	
履修取り下げについて	Course withdrawal
<可否> 可能 <条件> ただし、中間試験及び最終試験を受験しなかった者、ならびに授業を1/3以上欠席した者は「欠席」とする。	
成績評価	Grading
出席、レポートおよび定期試験（中間試験、最終試験）の結果をもとに総合的に評価する。	
不可（F）と欠席の基準	Criteria for "Absent" & "Fail" grades
出席、レポートおよび定期試験（中間試験、最終試験）の結果をもとに総合的に評価し、合格点に達しない者を「不可(F）」とする。定期試験を受験しなかった者ならびに授業を1/3以上欠席した者は「欠席」とする。	
関連する科目	Related courses
同位体地球化学 地球化学分析法Ⅰ及び実験 地球化学分析法Ⅱ及び実験	
他学科学生の聴講について	About attend other

<可否> 可能

<条件>

化学の基礎知識を有していること。地球科学に興味があること。

教室 Class room

E101

授業内容 Content

1. 地球化学の基礎  
岩石圏（地殻の構造・化学組成 / マントルと核の化学組成  
火成岩の造岩鉱物 / マグマの結晶作用など）  
大気圏（大気圏の構造と役割 / 大気の化学組成 / 大気コロイドなど）  
水圏（雨水 / 陸水 / 海洋 / 安定同位体と物質の挙動など）
2. 人間活動と環境  
水質汚濁と水資源 / 土壌汚染 / 大気汚染 / 酸性雨  
オゾン層の破壊 / 地球の温暖化
3. 地球化学・環境化学における分析化学、分析化学の概要
4. 環境の化学分析（実習）  
班毎にテーマを決めて環境分析・調査、ならびに発表

教科書 Textbook

特になし

参考書 Recommended reading

特になし

連絡方法 Contact method

メールを基本とする。

その他 Remarks

H24以前入学者は「地圏環境化学 0669700」で履修登録してください。